

1 本校が目指す5年後の姿

(1) 本校の現状と課題

本校は中央地区唯一の総合学科を設置する高校として、校訓「自彊不息（じきょうやまず）」のもと、教育の重点目標を「生徒一人ひとりを大切にするキャリア教育の推進」と定め、「文理」「農業科学」「土木」「ビジネス会計」「教養文化」の5つの系列に分かれ、生徒の適性、興味・関心に基づいた学習が地域との連携の中で進められている。

総合学科の特徴は、ガイダンス機能を持ち、生徒が将来の生き方や学びの方向性を模索する「産業社会と人間」を学習しており、多くの総合選択科目や自由選択科目を開設して、卒業までに所要の単位を修得すると卒業が認定される「単位制」であることが挙げられる。

これは自分の進路への自覚を深めさせるとともに、個性の伸長を図り、社会の変化に主体的に対応できる人材育成を目指すキャリア教育の観点からも重要である。

また本校は、部活動の加入率が高く、県大会上位レベルの力を保持しながら心身を鍛え、何事にも積極的に挑戦する生徒が多い。

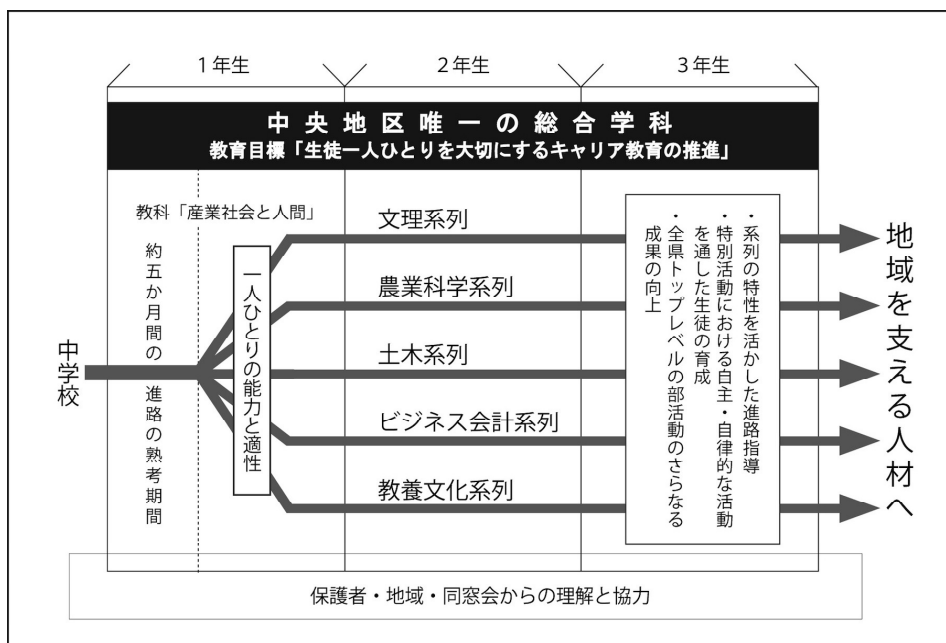
今後の課題としては、生徒自らが個性や適性を踏まえ、将来の職業選択を視野に入れながら、進路への意識を高める学習を更に充実させるとともに、積極的に科目を選択できる力を育てる必要がある。

(2) 学校を取り巻く将来の状況の予測

第7次秋田県高等学校総合整備計画では、由利本荘にかほ地区において2～3校による統合を視野に入れて、目指すべき学校の在り方を今後検討することになっている。

本校はJRの駅に近く主要道路にも隣接するなど利便性が良く、緑豊かな広大な敷地を保有し教育環境が整備されており、今後更に総合学科の系列を生かした活力ある学校づくりが欠かせないと考える。

西目高校 中期ビジョン（5か年）のイメージ図



(3) 目指す方向性や学校像（入口からのキャリア教育の重視）

「総合学科」の原点に立ち返り、中学卒業時に将来の進路を明確には決めていない生徒に対して、1年次前期でガイダンスや体験学習等を充実させ、自らが社会的・職業的に自立して生きていく大切さを学習する。さらに、「その道で生きる」というしっかりとした自覚を身に付けさせる学校としての存在感を地域にアピールできるようにする。

そのために「高等学校基礎学力テスト（仮称）」及び「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」に十分対応できる教育課程を示しつつ、授業改善による充実した教育を提供することで、「国公立大学」等の志望を抱いた生徒にも、満足感を持たせる授業や個別指導を行う。

また、一例として、美術系科目を最大6科目12単位の履修が可能であることを生かし、商業デザインやポスター作成を通して地域との連携を強化し、学習意欲を高め、秋田公立美術大学等への進学を目指す生徒を育成する。

さらに、地域連携のもと、農業科学系列に「畜産関連科目」を新設し、秋田牛の高付加価値化を目指すことや、現在実施している酒米栽培を安定供給できるようにする。また、西目ブランドの日本酒生産・販売に原材料から販売活動まで携わり、販売促進にはビジネス会計系列の学習を、広告や看板の設置には土木系列の学習を生かし、専門性の深化と広い視野を持った生徒の育成を目指す。

就職希望者については、「高等学校基礎学力テスト（仮称）」を意識し、基礎・基本を活用できる力を身に付けさせ、各種の体験学習も充実させて、地元に着しふるさとで働く生徒の育成を目指す。

各種専修学校等への進学希望者については、秋田県の課題を理解し、問題解決のために自らが行動しようとする意欲を高める指導を粘り強く行い、豊かな情操と勤労精神を涵養し、県内も視野に入れた進路選択ができる生徒を育成する。

(4) 5年間を通しての具体的目標

国公立大学を含めた進学率の上昇と、地域連携型の地元企業への就職、自己の適性と可能性を十分に考え抜いた各種専修学校への進学などあらゆる選択肢を持った学校にする。

1. 進学系	A		B
国公立大学	1.7	→	10.0
私立大学	14.3	→	20.0
短期大学	12.2	→	10.0
大学・短期大学計	28.3	→	40.0
高専・医療系専門学校	8.1	→	5.0
専門学校(医療系以外)	23.0	→	12.0
進学合計	59.4	→	57.0
	(%)		(%)

2. 就職系	A		B	C
県内企業	25.6	→	31.0	72.1
県外企業	9.6	→	7.0	16.3
公務員	3.5	→	5.0	11.6
就職合計	38.8	→	43.0	100
	(%)		(%)	(%)
未定	1.8	→	0.0	
	(%)		(%)	

注：Aの欄は端数処理で0.1%のずれが生じている箇所がある。

A欄は平成23年度から平成27年度までの卒業生総数761人の進路状況(%)であり、B欄は今後5年間の進路目標(%)である。なお、C欄は就職者の割合を県内外企業、公務員に置き換えた目標値(%)である。

2 具体的な取組等

- (1) 国公立大学進学希望者等に対しては、生徒への「授業に対する取り組み調査」を行うことで、授業改善を図りながら、新しい学力観を身に付けさせる。また、家庭学習の習慣化を図り、個別指導を行う。
- (2) 就職希望者に対しては、地元企業の魅力を体験学習等によって十分に理解させ、地元企業や地域の後継者的存在になれるよう、長期インターシップを推進するとともに、その単位認定を考慮した教育課程を検討する。同時に、働く意義を理解させ、勤労観・職業観と豊かな人間性を身に付けさせる。
- (3) 各種専修学校等への進学者希望者については、一人ひとりの能力と適性の開発に努め、実践的諸活動により学習意欲を高め、積極性を養い豊かな情操と勤労精神を涵養することで、「技術や機能」「マナーや接客」等を学ばせ、社会が必要とする人材を育成する。特に土木や教養文化系列の生徒には、県内にある技術専門校や湯沢翔北高校の専攻科に目を向けさせ、本県に残り、秋田の課題や可能性に主体的に挑戦する生徒を育成する。
- (4) 特別活動に関しては、生徒会活動・ボランティア活動等を通じて、地域社会に貢献しようとする意志を持った生徒を育成する。また、部活動の運営に積極的に生徒を関わらせ、リーダーの育成や協調性、責任感などの資質向上を支援し、全県トップレベルの競技力を維持しつつ更なる規範意識を高める指導をする。

以上のことを実現するため「総合学科」の特徴である「自分で選択して自分のために学ぶ」ことを理念として掲げ、個性を磨き、未来を拓く学校にする。